



新年度のご挨拶

まちなか環境学習館銀天エコプラザは、平成23年8月のオープン以来、29年度末で学習室の利用者は5万6千人にもなり、自主事業としての環境サロン、まちなかおそうじ隊、まちなかエコ市場、さらには指定業務であるポータルサイト「うべっくる」(<http://ubekuru.com/>)を活用して、環境啓発にも力を入れてきました。とくに平成28、29年度には環境省から予算をいただき、『こども達の「生きる力を育む」地域教育力の向上』に注力し、環境関連団体の連携や、環境教育プログラムの充実に鋭意努力して参りました。新年度より、学習館の運営はもとより、いよいよ世代交代を本気で考え、新体制を発足したいと考えています。

持続可能な開発目標(SDGs)

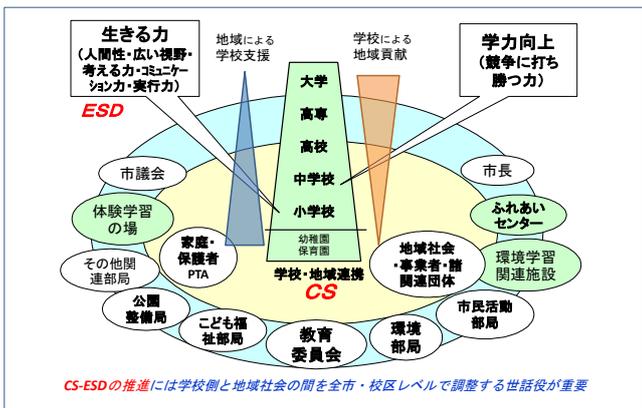


この2年間で取り組んだ成果を引き継ぎ、CS-ESD-SDGsつまり、地域と学校が連携する事により、持続可能な開発目標の実現に貢献する人づくり(ESD)の推進を最重要課題と位置づけて頑張りたいと思っています。「持続可能な発展」は今や世界中のどこでも聞かれる「合い言葉」になっていますが、人口過剰増殖と贅沢な生活による資源

の浪費等、人類がこれまで経験したことの無い「難題」の解決は言うほど簡単なことではありません。グローバル500賞の対象になり、世界から学びにきていただいている「宇宙方式」を、人類共通の課題に挑戦するという形で、もう一度世界に発信するチャンスです。宇宙の成功例が県のモデル、日本のモデル、世界のモデルになるように、市民の皆様方のご協力が得られればありがたいと思います。老若男女を問わず、それぞれのお得意の分野、やりたい分野で、少しずつ貢献していただければ、全体として、大きな力になると思います。「小異を捨てて大同につく」「義を見てせざるは勇なきなり」...

このような取組に興味を感じられる方はお気軽にご連絡いただくか、学習館にお越し下さい。

うべ環境コミュニティー 理事長 浮田正夫



宇部市まちなか環境学習館(銀天エコプラザ)ご利用案内 開館時間: 9時~21時 休館日: 毎週火曜日、年末年始(12/29~1/3)

当館はどなたでもご利用頂く事が出来ます!



- 【フロア案内】
- 4F 学習室
 - 3F ミーティングルーム(大)
 - 2F ミーティングルーム(小)
 - 1F 事務室

4F 学習室
静かな環境の中、学習に読書に集中してご利用頂ける学習室です。幅広い年代の方にご来館頂いています。ご利用は無料です



初めてのご利用の際は「ご利用カード」を作成しますので1F事務室にお越しください。

2F ミーティングルーム(小) **3F** ミーティングルーム(大)

人数に応じて選べる大小のミーティングルーム。会議や仲間同士の茶話会等、お気軽にご利用頂く事が出来ます。



ミーティングルーム	小(12人程度)	大(30人程度)
9:00~12:00(3時間)	216円	540円
12:00~17:00(5時間)	324円	918円
17:00~21:00(4時間)	378円	1,026円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間
※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む).....各時間帯 1,080円		

ご予約、お問い合わせはこちらまで▶ 宇部市まちなか環境学習館 Tel. 0836-39-8110

宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」

うべっくる 検索

<http://www.ubekuru.com>

まちなかおそうじ隊

☆☆参加者募集中☆☆

毎月最終日曜日に学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじの後はお茶会でホッとひと息♪

4月29日(日) 15:00~ 学習館前集合!

参加者に宇部市環境地域通貨エコハ2枚進呈いたします!

再生飼料(エコフィード)の開発

～株式会社アースクリエイティブの取り組み～

株式会社アースクリエイティブは、昭和32年の個人創業、昭和38年より旧社名の宇部衛生工業社として浄化槽の維持管理清掃業や廃棄物の運搬処分を中心に事業を行ってきました。長らく環境保全を行う会社として営んで参りましたが、この十数年は、食品リサイクルや廃食油リサイクル、廃プラリサイクルなどのリサイクル事業から、畜産や農業分野などお客様のニーズに応える事業を展開しております。

今回は、そのうちの食品リサイクル事業（飼料化）について御紹介をさせていただきます。

日本における食品廃棄物の量は、試算によって差はありますが年間約2,000万トンと膨大で、そのうち約半数近くはまだ食べられたはずの食品とされています。これは3食に1食分を廃棄している量に相当し、世界全体の食料援助量の2倍にもあたり、日本の米収穫量に匹敵するとも言われています。我々廃棄物を回収する者から見て、まだまだ食べられる物や食べ残しが沢山廃棄され、またそれに化石燃料を使って焼却する行為は、まさに「もったいない」そのものでした。

この「もったいない」をどうにかできないかと思った矢先に食品リサイクル法が施行され、調べるうちに日本の自給率の低さにも驚く事となりました。日本の食料自給率は39%で、特に豚の餌である飼料自給率は14%と言われています。つまり豚は国産率が高いとは言え、輸入のトウモロコシなどが生産国内でバイオエタノール



自社の食品リサイクルセンターで製造される再生飼料「きららミール」



などに回って輸入が無くなると、国産であった豚肉すら自給が出来ない国なのです。

そこで平成16年から、この食品廃棄物を飼料にする取り組みを始め、山口大学や山口県畜産試験場（現農林総合技術センター）と協働で、再生飼料（エコフィード）の開発を行い、平成18年より「食品リサイクルセンター きららエコフィード」を宇部テクノパークに整備し運営を開始いたしました。

食品リサイクルそのものが、まだまだ世間に認知されておらず、順風満帆の運営ではありませんが、徐々に県内の食品廃棄物を受け入れる量も増え、また製品化された再生飼料であるエコフィードも豚や鶏を対象とし、県内や九州の畜産農家に御利用を頂いております。

エコフィードで育てた豚肉は、アミノ酸が豊富なたんぱく質やミネラルを含み、甘みのある美味しい豚肉になるとも好評をいただいております。

廃棄物を資源化して行く事は環境に配慮してだけでなく、現在の日本の自給率を向上させたり、未来ある世代に資源を残していく大事な取り組みです。私共は未来へつなぐ事業として今後も事業の推進を図って参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社アースクリエイティブ
専務取締役 中島 浩

うべ環境コミュニティー会員

ほっと

コラム

『しあわせ念じて』



原稿の締め切りまで残り1週間。何を書いたらいいのだろうと焦る心に今日の日付が教えてくれました。

今日は3月11日。東北を中心に大震災が起きた日です。あれから7年が経ちました。大津波が押し寄せる映像は今も脳裏に鮮明に残っています。その日の夜からしばらくの間、布団に寝ることが申し訳ない思いでいっぱいでした。

居ても立ってもいられずボランティア活動に出向きました。5月31日から6月3日まで石巻の鹿妻小学校避難所で活動させて頂きました。地震から2か月半経っていたので、避難していた方が他へ移動された後の教室の清掃やトイレ、手洗い所の清掃に取り組みました。一度帰宅して7月に再度同じ避難所へ行きました。

「あんた、ほんとに来てくれたんだな。」と、再会を心から喜んでくれました。再会のおかげと思うのですが、九死に一生を得た方や家を流された方が、「その時」の話を聞かせてくれました。寿司屋を営んでいたおじちゃんは、たった一個持ち出した「屋号の入った湯飲み茶わん」で紅茶をご馳走してくれました。あま～い あま～い紅茶でした。

私がラジオ体操を始めたのは“この時”からです。避難所の体育館にラジオ体操の歌が流れますと、それぞれの場所で体操が始まります。

「♪あた～らしい朝がきた！きぼ～うの朝だ！

よるこ～びに胸を開き おおぞ～らあおげ～♪」

毎朝6時半からラジオ体操をするたびに、避難所の皆さんの顔が思い出されます。

どうぞ、「しあわせに」と念ずるばかりです。

午後2時46分、黙祷させて頂きました。合掌

山根好子



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）